

3)「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく阿賀川流域の減災に係る各機関の  
取組  
(各機関の令和6年度の実施内容報告)

## 阿賀野川(阿賀川)水系流域治水協議会(福島県)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

### 連携活動

○「田んぼダム」モデル圃場の

設置・現地研修会の開催

○出水期前に市町村や水防団

等と重要水防箇所や水防資

機材の合同巡視を実施



### 水災害、流域治水の広報

○大雨への備えや避難の重要性 ○防災意識の向上とマイ避難の普及  
についてラジオ(県政広報番 組)に出演し呼びかけ(計3回) なる・ふくしま2024」を実施

○線状降水帯に関する注意喚起 ○気象台と連携し県内各市町村職員を  
等について、30秒スポットCMや 対象とした気象防災ワークショップ  
新聞にて周知広報を実施した。 を各地方振興局にて実施。内、阿

○出前講座、防災イベント、マイ避 賀川流域においては、会津地方振  
興局及び南会津地方振興局にて  
講習会等のイベントや包括連  
携を結んでいる店舗で「ふくしま 各1回実施

マイ避難ノート」等を配布

○県内の流域治水に係る取組につ

いて県政広報テレビ番組で紹介

を開催



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について  
知る機会を増やしていく。

### 教育活動・出前講座

○小中学校等を対象に「そなえるふくしまノート」等を活用した防災出前講座を実施

(113回:計3,423人)R7.3.6時点

○喜多方市及び南会津町において、防災に関する家族セミナーを開催(2回:計25人)

○小中学校を対象に水災害及び土砂災害に関する出前講座を開催(11回:計486人)

○災害リスクエリアの住民等を対象にマイ避難推進講習会を開催(91回:計2,558人)

R7.3.6時点



### リスク情報等の提供

○気象情報や避難情報等をプッシュ通知で知らせる防災アプリの開発

○様々な防災情報を地図上に一元表示させる防災ポータルの開発

○福島県河川流域総合システムにて河川水位、雨量情報等を発信

○田付川など4河川において危機管理型水位計を4基設置

○伊南川において簡易型河川監視カメラを2基設置

○オーノ戸川などにおいて洪水浸水想定区域図を作成・公表



### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる  
きっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### 訓練活動

○阿賀川水防訓練に参加

○福島県土木部災害対応模擬訓練に参加(県・市町村)



### 計画策定

○防災士等を派遣の上、地区防災計画策定のためのワークショップ  
等を実施(10市町18地区)

○水害タイムラインの策定主体となる市町村と連携しながら各種技  
術的支援を実施



### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行わ  
れるよう、個人、企業、団体の行動を誘発していく。

## 阿賀野川(阿賀川)水系流域治水協議会(会津若松市)

結果報告：具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

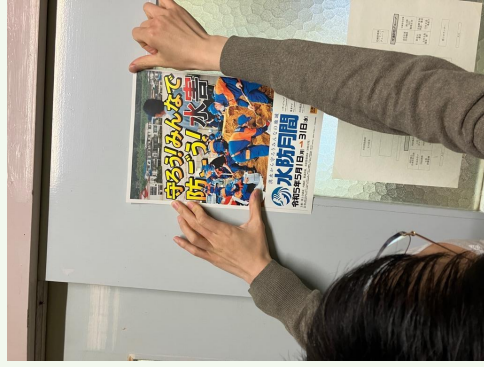
### 流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

#### 連携活動

- 阿賀川管内の各河川管理施設の機能  
を把握するため、河川管理者と合同勉強  
会の実施
- 県河川合同パトロールの実施

#### 水災害、流域治水の広報

- 出水期に合わせ広報誌、ポスター  
掲示により広報を行う



#### 教育活動・出前講座

- 防災に関する意識を高め、水害を  
想定した避難訓練を実施(神指小  
学校)
- 市防災対策普及員による、市民  
向け水災害等に関する出前講座  
の実施
- 出前講座により、防災行動計画  
(タイムライン)について周知を  
図った



#### リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域、土砂災害計画区  
域等の検討・公表
- ホームページ等による河川の水位情  
報や河川監視カメラ等の情報提供

#### 訓練活動

- 阿賀川水防訓練に参加
- 市総合防災訓練を実施。防災訓練に合わせ、  
町北地区・高野地区・神指地区の避難訓練及び  
防災講習を実施。



#### 計画策定

- 要配慮者施設における避難計画策定の推進  
を行った
- 病院や福祉施設等の要配慮者施設に係る  
基礎データを収集
- 会津若松市地域防災計画に掲載されている  
要配慮者施設の避難確保計画の作成率を  
100%とした。
- 新庁舎の建て替え工事(R4～7)にあたり、  
耐水化、非常用電源等の必要な対策につい  
て確認を行った。



#### 水防活動の支援

- 出前講座において、自主防災組織化  
の必要性を説明した。
- 出前講座等による自主防災組織化  
の支援を行った
- 自主防災組織の設立意向のある町  
内会等への直接支援を行った。
- 出前講座による自主防災組織設立に  
向けた機運醸成を図った。
- FMあいづにおいて、防災特番収録へ  
の参加し団員募集を行った。



#### 水災害対策の支援

- 水災害時に使用する、消防団員  
用ヘルメットの配備
- 出水期に備えた土のう作成及び  
配備

#### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について  
知る機会を増やしていく。

#### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる  
きっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

#### ③行動を誘発する

流域治水に關して実際に取組が行わ  
れるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む  
主体が増える



# 阿賀野川(阿賀川)水系流域治水協議会(その他の協議会構成員の取組)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



## 連携活動

- 洪水時の公衆災害防止を目的として、出水時の通知、通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施(東北電力: 国、市町村、警察、消防、1回)(電源開発: 町、警察、消防)
- 流域平均雨量を活用した地域防災支援の取組み(福島県気象台)
- 河川管理者等と合同で水防資機材の確認(昭和村)
- 河川管理者等と重要水防箇所等の合同点検巡視の実施(金津美里町)



## 水災害、流域治水の広報

- 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施(東北電力: 市町村、1回)(電源開発: 町(只見町)での全戸配布))
- ダム放流に関するポスター配布により啓発活動を実施(東北電力: (近隣小学校、1回))



広報猪苗代 2024年9月号

## リスク情報等の提供

- 住民の防災に対する意識向上のため、広報誌による防災情報について周知(猪苗代町)
- 洪水浸水想定区域、土砂災害計画区域等の検討・公表
- ホームページ等による河川の水位情報や河川監視カメラ等の情報提供
- 会社ホームページにダム毎正時情報等の掲載による情報提供(東北電力)
- ダム毎正時情報等を国土交通省へ伝送し、「川の防災情報」への掲載による情報提供(東北電力・電源開発)

## 訓練活動

- 阿賀川水防訓練に参加(喜多方市、会津坂下町、会津美里町、西会津町、下郷町、湯川村)
- 町防災訓練時、住民参加型の避難訓練を実施した。



○ 小中学校等に水災害及び土砂災害などに関する出前講座の実施



## 水防活動の支援

- 塗物町自主防災組織・医療法人佐原病院等による合同避難訓練を実施。(喜多方市)
- 社会福祉法人啓和会で、水害・火災避難訓練を実施。(喜多方市)



## 計画策定

- 流域タイムライン策定への支援
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成検討



## 水災害対策の支援

- 河川管理者と町・水防団(消防団)で資機材を確認した。
- 土壌ステーションの保管量、管理方法、速やかな配布方法等の検討

討

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

流域治水に関し、実際に取組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

